

1. 研究活動概要

2012年度、当所は、我が国の経済活動の基盤を支える電力の安定供給に向け、堅固で柔軟な新たなエネルギー需給構造の構築を目指した研究を、中期的な方向性を示す「リスクの最適マネジメントの確立」、「設備運用・保全技術の高度化」、「次世代電力需給基盤の構築」の3つの研究の柱のもとで推進しました。また、電気事業にとって喫緊の課題となっている軽水炉の安全性高度化や電力設備の自然災害対策について、当所の総合力を発揮し、最優先で取り組みました。

電気事業にとって必要不可欠または今後必要とされる技術のうち、当所が重点的に取り組み、維持・継承または発展させる33課題を重点課題として研究を推進しました。また、重点課題の中でも、特に総合力を発揮して早急に解決すべき喫緊の9課題を重点(プロジェクト)課題とし、着実な成果の創出を図りました。なお、連携すべき重点課題および重点(プロジェクト)課題を11の課題群にグループ化し、効果的に研究を推進しました。また、37の基盤技術課題を設定し、8つの専門別研究所*の特長と専門能力を活かした取り組みにより、電気事業の現場における課題解決の源泉となる基盤技術力や専門分野毎の研究力を強化しました。具体的には、現地での調査や実験・計測によるデータ・ノウハウの蓄積、

分析手法や解析手法の開発・整備・改良、新たな着想を具体化するための基礎研究等に取り組みました。

2012年度に得られた主要な研究成果を、重点課題については課題毎に、基盤技術課題については専門別研究所単位で、各研究課題の目的等と合わせて2章に示します。

電気事業の技術基盤を支え、当所の基盤研究力を維持・強化するための主要な研究設備については、PV大量導入時の課題解決に資する「PCS(パワーコンディショナ)多数台試験設備」、高経年CVケーブルの前駆遮断等の絶縁性能を検証する「長尺CVケーブル絶縁特性試験設備」、結晶粒界の極微量元素分析が可能となる「アトムプローブ装置用短波長レーザー装置」、放射化した材料の広視野表面元素分析に用いる「電子線マイクロプローブアナライザー(EPMA)装置」、最大100kAの連続通電が可能である「大容量電力短絡試験設備用の屋外断路器」等を導入しました。

* 社会経済研究所、システム技術研究所、原子力技術研究所、地球工学研究所、環境科学研究所、電力技術研究所、エネルギー技術研究所、材料科学研究所

設備運用・保全技術の高度化

次世代電力
需給基盤の構築

重点/重点(プロジェクト)課題

リスクの最適マネジメントの確立

基盤技術課題

2012年度 研究課題構成 (2013年3月31日現在)

重点課題／重点(プロジェクト)課題

重点課題: ● 重点(プロジェクト)課題: ○ 基盤技術課題: ◆ 課題群: 枠囲み (□: 社会・経済, □: 原子力, □: 発電(原子力除く), □: 電力流通, □: 需要サイド)

リスクの最適マネジメントの確立

エネルギー・環境政策の提言
○ 持続可能な事業体制と料金制度の提言
・ 省エネ・環境制度の分析
～経済・安全保障との調和の視点で～
・ 科学・経済的合理性を持ったCO₂排出削減シナリオの構築

軽水炉安全性高度化

○ 軽水炉のシステム安全評価
○ 自然外部事象に対する原子力施設の安全性評価技術の高度化
○ 放射性物質の拡散・長期動態に関する予測手法の開発
・ 原子力施設における火災現象評価技術の確立

放射線リスク解明

・ 低線量放射線リスクの定量評価と放射線防護への反映

バックエンド事業支援

・ 放射性廃棄物処分の長期安全性評価技術の体系化
・ 使用済燃料の長期貯蔵管理技術の開発

電力流通設備の自然災害対策

・ 電力設備に及ぼす気象・気候影響予測手法の開発
・ 送配電設備の風雪害対策技術の実証
・ 雷リスクマネジメント技術の構築

設備運用・保全技術の高度化

軽水炉保全支援

・ 経年軽水炉の健全性評価

発電施設建設・運用・保全支援

・ 高クロム鋼製高温機器の設備診断技術の開発
・ 火力発電の大気環境総合評価技術の開発
・ 生物多様性に配慮した電力施設の建設・運用支援技術の開発
・ ダム流域土砂管理のための統合システム開発

電力流通設備の運用・保全支援

○ PCB汚染変圧器の簡易処理技術の実証
○ 経年電力流通設備の維持管理技術の構築
・ 経年鉄塔の健全性評価技術の開発

次世代電力需給基盤の構築

火力発電技術の高度化

・ 微粉炭火力の燃料種拡大のための運用技術開発
・ 低品位資源利用技術の高度化
・ IGCCの高度化と低炭素化技術の確立

次世代グリッド技術の確立

○ 太陽光発電大量導入時のシステムセキュリティ評価
・ 次世代電力需給協調システムの開発
・ 次世代通信ネットワークシステムの構築
・ 日本型デマンドレスポンスの成立性評価

電化・省エネルギー技術の開発

○ 次世代ヒートポンプの開発と評価
○ 高性能パワー半導体SiCの開発
・ 高性能二次電池評価技術の確立
・ 電化厨房の省エネルギー性評価
・ 電気自動車・蓄電池システムの普及支援研究開発

基盤技術課題

社会経済研究所

◆ 電気事業経営
◆ 経済・社会システム
◆ エネルギー技術評価

システム技術研究所

◆ 電力システム
◆ 需要家システム
◆ 通信システム
◆ 情報数理

原子力技術研究所

◆ 原子炉システム安全
◆ 燃料・炉心
◆ 燃料サイクル
◆ ヒューマンファクター

地球工学研究所

◆ 地圏科学
◆ 地震工学
◆ 構造工学
◆ 流体科学
◆ 地下エネルギー利用技術

環境科学研究所

◆ 大気・海洋環境
◆ 水域環境
◆ 生物環境
◆ バイオテクノロジー
◆ 環境化学

電力技術研究所

◆ 高電圧・絶縁
◆ 雷・電磁環境
◆ 高エネルギー
◆ 電力応用
◆ 大電流技術

エネルギー技術研究所

◆ 高効率発電
◆ 燃料高度利用
◆ ヒートポンプ・蓄熱
◆ エネルギー変換
◆ 熱流体・反応数値解析

材料科学研究所

◆ 原子力材料
◆ 構造材料
◆ エネルギー変換・貯蔵材料
◆ 機能材料
◆ 非破壊検査
◆ 材料研究共通基盤技術